

■栄光サッカークリニック(第 4 回実施レポート)

◇日時:2019 年 10 月 27 日(日)8:30~15:00

◇場所:栄光グラウンド

◇参加者:出口先生、小林先生、日野先生、千野コーチ、高橋

◇内容:練習試合(①~⑦まで観察)

- ①0830 栄光学園 A-岩瀬 A
- ②0930 栄光学園 B-岩瀬 B
- ③1020 栄光学園 C-岩瀬 C
- ④1110 岩瀬 A-大野南 A
- ⑤1210 岩瀬 B-大野南 B
- ⑥1300 栄光学園 C-岩瀬 C
- ⑦1350 栄光学園 A-大野南 A
- ⑧1450 栄光学園 B-大野南 B

◇コメント

前回のゲームから継続して FW は動き出しのタイミングが良く、さらに決定力の高さも示していた。特に相手サイドで MF が奪ったボールを上手く呼び込んでいた。

奪ってから手数をかけずにゴールに向かってるので相手 DF は対応する時間をもらえずに簡単にシュートを許してしまっているという展開になっていた。

得点が多く生まれたことは相手 GK の力量を考慮する必要がある。

シュートの正確さはもちろんファーストタッチの精度と相手との関係からのボールの置く位置など今後の練習でさらに磨きをかけてほしい。両サイドにスピードのある選手を配置できているのでフリーにさせて勝負させる工夫が欲しい。

例えば、TOP にボールを預けて相手 SB を中央に絞らせサイドをフリーにする。或いは相手が 4 枚の DF であればサイドチェンジで逆サイドに位置するサイドアタッカーをフリーにすることが可能である。

相手が 5 枚で守っている場合はサイドチェンジはあまり有効ではない。

このあたりのサイド攻撃の統一したチームとしての役割、戦術の共通の意識を持たせたい。

守備面では相手の中心選手をとめることが相手チームの力を大きく奪うという意識を持って欲しい。例えばその選手がドリブラーであれば 1 人が前を向かせないように戻ってきた選手と一緒に挟み込んでボールを奪うなど。

~~~~~

以上